



ハウステンボスにカジノはいらない!!

2021年7月12日号

## ストップ・カジノ！署名推進ニュース

ストップ・カジノ！長崎県民ネットワーク 長崎市恵美須町2-3-2F(県保険医協会内)TEL 095-825-3829

7月役員会

## 県議会へカジノ・ノーの声を伝えよう！

▼総会後最初の役員会を7月8日開催しました。9名の参加です。総会での意向を受けての今後の活動について議論しました。

▼今井講演で明らかになった法第9条第8項の、議会対応が中心です。議会請願の準備やそこに向けての運動をどうすすめていくか、時間はないが新たな署名が必要だ、また県民の声を反映させる調査をマスコミの力を借りて出来ないか、私たちも九州全体の理性に訴えよう、など活発な議論になりました。

具体的には、右の<決定事項>のとおりです。それぞれ手分けして進めていくことに致しました。

▼いよいよ最後の攻防戦を迎えたような気がいたします。議会のヤマ場は11月議会も考えられますが、2月議会になるでしょう。頑張りましょう。(別面に参考まで、「カジノ整備法」の関係条文を抜粋します)

### <役員会・決定事項>

- ①県議会請願を行なう。各政党・会派へは改めて協力要請していく。
  - ②これまでの知事宛の署名だけでなく、県議会議長宛の署名も行なうこととする。
  - ③マスコミ各社に対し、カジノ誘致の是非に対する世論調査を要請する。また、今秋までに確実視される総選挙で、ネットワーク独自の出口調査を検討する。
  - ④県は九州IRと位置付けている。私たちも九州を視野に、加盟団体としてまたネットワークとして友好団体への協力を依頼する。
  - ⑤打診のあった第2弾の「三悪県政抗議集会」については積極的に受け止め、具体案提示の段階で役員会に諮る。
- ◆次回街頭宣伝行動は7月28日(水)14時から1時間、長崎市浜町アーケード内。、次回の役員会は7月29日(木)14時からオンラインでおこなう。

## 2021年 カジノ学習会・総会 に 36名 の 参加

▼6月20日カジノ・ネットは2021年総会と学習会を開催し、会場参加11名、オンライン参加25名の計36名が参加しました。

まず共同代表の本田孝也先生から「いよいよ正念場です。カジノ誘致をストップさせるまで頑張りましょう。」との開会挨拶があり、今井一成弁護士による学習会「長崎IRの現状について」の講演がありました。国・県の今後のスケジュールが示され、認定申請までに私たちの声を反映できるヤマ場があることが「IR整備法」の条文に基づき判りやすく説明されました。法律によると公聴会を開いて住民の意見を聞くこと、申請には議会議決を要することが定められています。また、弊害対応や経済効果への疑問、35年間問題など、長崎IRの問題点を詳しく報告されました。

▼その後、総会に移り、経過報告等、議事にそって進りました。今後の運動の方向については県の動きを見ながら役員会で論議決定のうえ示されることが確認されました。質疑では一部機材の不具合でオンライン参加者の音声聞こえなくて不十分なやりとりになりました。申し訳ありませんでした。最後に事業者選定を直ちにやめ、IR誘致事業から速やかに撤退することを知事に求める「総会決議」を全員(だと思います)で採択しました。参加のみなさん、ごろうさまでした。



▼総会の翌々日の22日、県に第2次分の署名、4226筆を提出いたしました。1次分と併せ10416人の県民の「カジノはいらない」の切実な声です。また同時に「総会決議」を手渡しました。出席は県との事前連絡でコロナ禍のなか少人数としたため、今井弁護士、山下幹事、新木事務局長の3名です。県側の対応は小宮IR推進課長でした。

## 署名、2次分を県に提出



事務局から

- 佐世保「市民の会」は6月29日、市長に対し、IR事業からの撤退を求める申入れをしました。手続きが進んでいけば「市の同意」のために市議会の議決が必要になるでしょう。これから県議会、市議会ともにホットスポットです。
- 横浜の動きが慌ただしくなっています。8月の市長選にIR推進派、反対派が入り乱れて立候補が取りざたされています。注目です。(新木)